

中学校社会科（歴史的分野）学習指導案

単元名 生麦事件から考える、日本の開国とその影響	内容のまとめ C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界 (イ) 明治維新と近代国家の形成
------------------------------------	---

1 単元目標

- ・開国と江戸幕府滅亡により、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
- ・開国の影響とその後の幕府政治の推移について、政治面・経済面・社会面それぞれの視点から多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・開国の影響から江戸幕府滅亡までの過程について関心を高め主体的に追究しようとする態度を養う。

2 単元を通して身に付けさせたい資質・能力

1853・54年の二度にわたるペリー来航の結果として結ばれた「日米和親条約」と、その後、米・英・仏・露・蘭との間で結ばれた「安政の五か国条約」によって、約240年間続いた幕府による貿易統制が終わった。開国により起こった政治面・経済面・社会面の諸問題について、教科書・副教材（資料集）のみならず、横浜市歴史博物館企画展「生麦事件と横浜の村々」の図録を活用し、諸問題の背景に気づくことができるよう授業を進めたい。

尊王攘夷運動から倒幕運動へ、貿易統制から開国へと、社会が大きく転換した背景を理解させたい。

3 実践計画の概要

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
・生麦事件を記録した諸資料を通じて、幕末に起こった攘夷運動の原因と結果を理解している。	・生麦事件を記録した諸資料に着目して、幕末に起こった攘夷運動の原因と結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	・生麦事件を記録した諸資料を基に、幕末に起こった攘夷運動について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。

(2) 指導と評価の計画 [3時間扱い]

学習活動と内容 (時間数) 3時間	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
1 黒船来航と2つの条約による開国 ペリー来航から安政の五か国条約締結に至る過程を理解する。また、開国したことによる国内への影響について、資料を使って考える。	◆資料集「日米和親条約」・「日米修好通商条約」および条約調印に関わる絵画資料 ◇条約の内容を理解させる。 ◆資料集「横浜開港後の物価上昇と貿易 (生糸と米のねだん)」のグラフ ◇開港前と開港後の物価変動に気づかせる。
2 開国による日本国内への影響 本時 横浜市歴史博物館企画展図録『生麦事件と横浜の村々』の掲載資料を活用して、尊王攘夷運動が起こった原因を考える。	◆「1. 生麦事件図 (ワーグマン画をベアトが撮影)」 (図録『生麦事件と横浜の村々』以下同じ) ◆「71. 薩英戦争俯瞰図」(ル・モンド・イリュストレ) ◆「16. 横浜周辺外国人遊歩区域図」 ◆「遊歩区域図」(自作) ◆「83. 前田砲台を撮影したイギリス軍」(ベアト撮影) ◆『わかるヨコハマ』P. 157～158 本文および表「幕末の外国人殺傷事件」 ◇生麦事件を通じて攘夷運動を理解させる。 ◇薩英戦争後、幕末に起こった攘夷運動に見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3 攘夷から倒幕へ 尊王攘夷運動が倒幕への変化していくのか調べ、江戸幕府滅亡までの経緯をまとめる。 開国による政治的・社会的な影響に触れ、それらが明治維新の動きを生み出したことに気づく。	◆資料集「歴史年表」など ◇攘夷運動がどういった過程を経て、倒幕運動へと進んでいったのか、学習した知識をもとに気づかせる。

4 本時目標

- ・ 生麦事件の原因を通して、幕末に起こった攘夷運動の原因と結果を多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・ 薩英戦争後、幕末に起こった攘夷運動に見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

5 本時展開

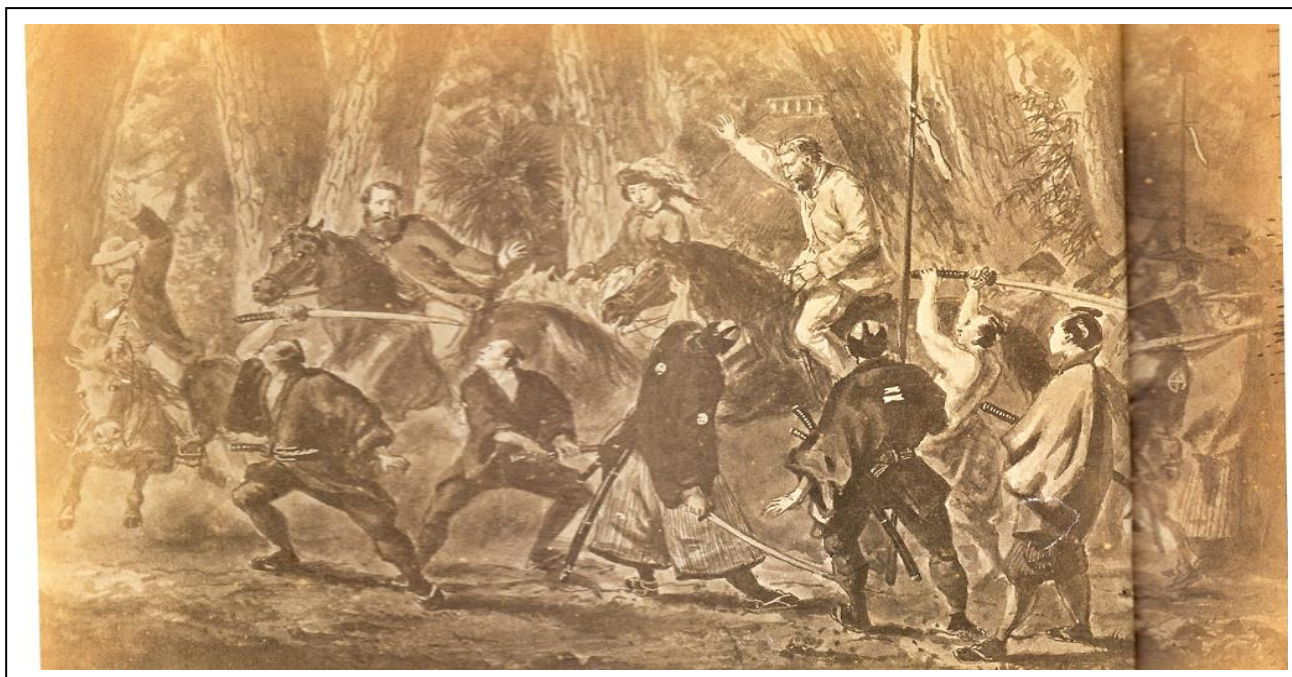
主な学習活動と内容	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
-----------	------------------------

・生麦事件を描いた絵画から、気がついたことを発表する。 【予想される生徒の反応】 S：武士が外国人を襲っているような場面だから、「外国人を襲う武士」かな。	◆「1. 生麦事件図」 ◇「1. 生麦事件図」から、どのような人たちがどのような動きをしているのか発表させる。 【発問例】 T：この絵に題名を付けるとしたら、どんな題名をつけますか。
・生麦事件および薩英戦争の概要について、『わかるヨコハマ』を音読する。 ・生麦事件の原因を考える。 ①薩摩藩の立場から考える。 ②イギリス人の立場から考える。 ・横浜周辺において、このような外国人殺傷事件が起こっていたのかを『わかるヨコハマ』を使い調べる。 ・薩英戦争のあと、薩摩藩とイギリスの関係はどのように変化したのか考える。 【予想される生徒の反応】 S：「遊歩区域図」を見ると、開港された横浜港から遠く離れたところまで外国人が出かけることができたからかな。 S：開国し貿易が始まったことによって、物価が上昇し、人々の生活が苦しくなると前回の授業で学んだよ。	◆『わかるヨコハマ』P. 157～158 ◆「71. 薩英戦争俯瞰図」 ◇『わかるヨコハマ』から概要を知るように指示する。 ◆「16. 横浜周辺外国人遊歩区域図」 ◆「遊歩区域図」 ◆『わかるヨコハマ』P. 158 表「幕末の外国人殺傷事件」 ◇「16. 横浜周辺外国人遊歩区域図」と「遊歩区域図」から、開国後外国人が広い範囲の移動が可能だったことに気づかせる。 ◇薩英戦争後、薩摩藩とイギリスが接近していたことに気づかせる。 【発問例】 T：どうして、武士が外国人を襲う事件が起こったのでしょうか。
・薩英戦争とほぼ同時期に起こった下関砲撃事件後、攘夷運動はどうなったか考える。	◇攘夷運動から倒幕運動へと変化していったのか、その理由を考えさせる。

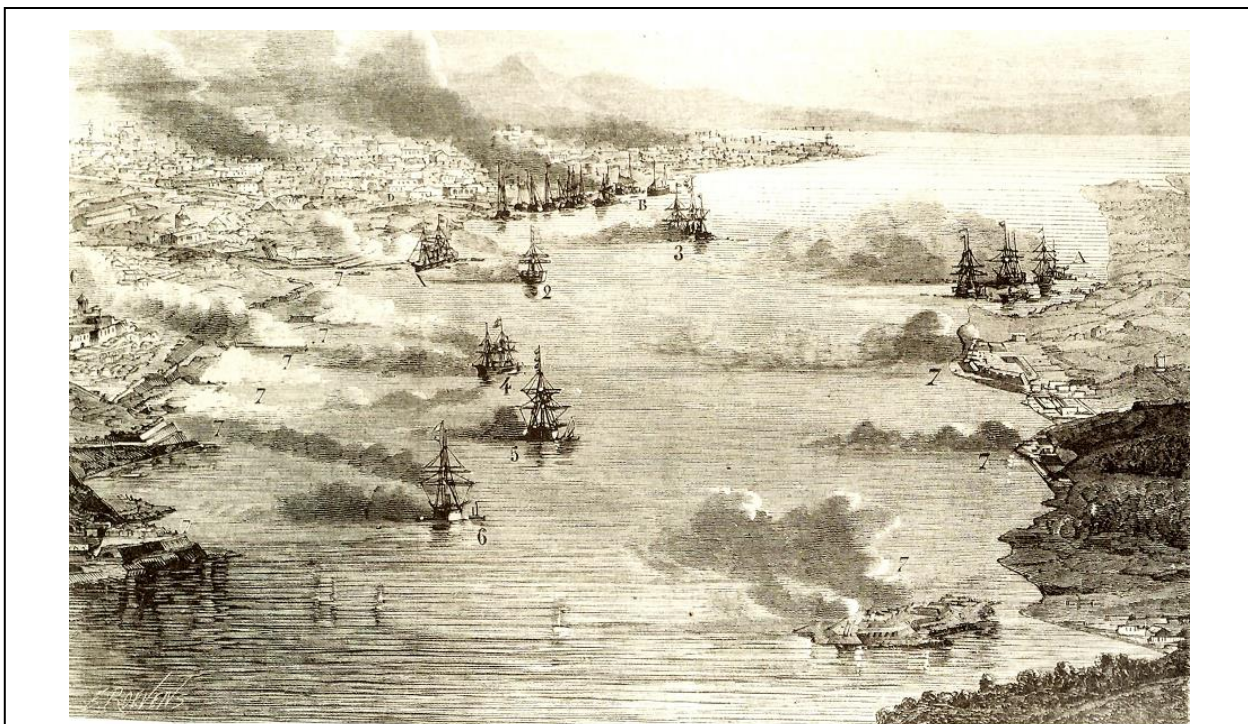
6 博物館との連携（参考文献など）

本単元では横浜市歴史博物館特別展の図録『生麦事件と横浜の村々』を主な資料として活用し、授業を構成したものである。

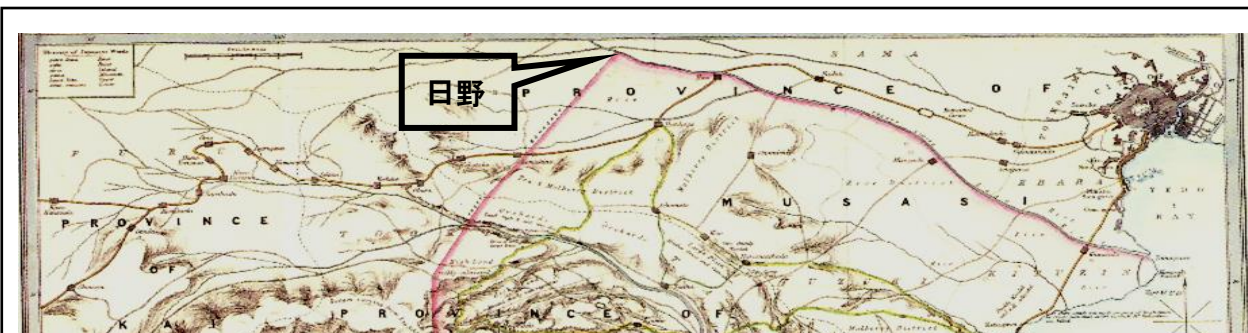
① 図録P. 6 「1. 生麦事件図」(ワーグマン画・ベアト撮影)



② 図録P. 37 「71. 薩英戦争俯瞰図」(ル・モンド・イリュストレ)



③ 図録P. 13 「16. 横浜周辺外国人遊歩区域図」



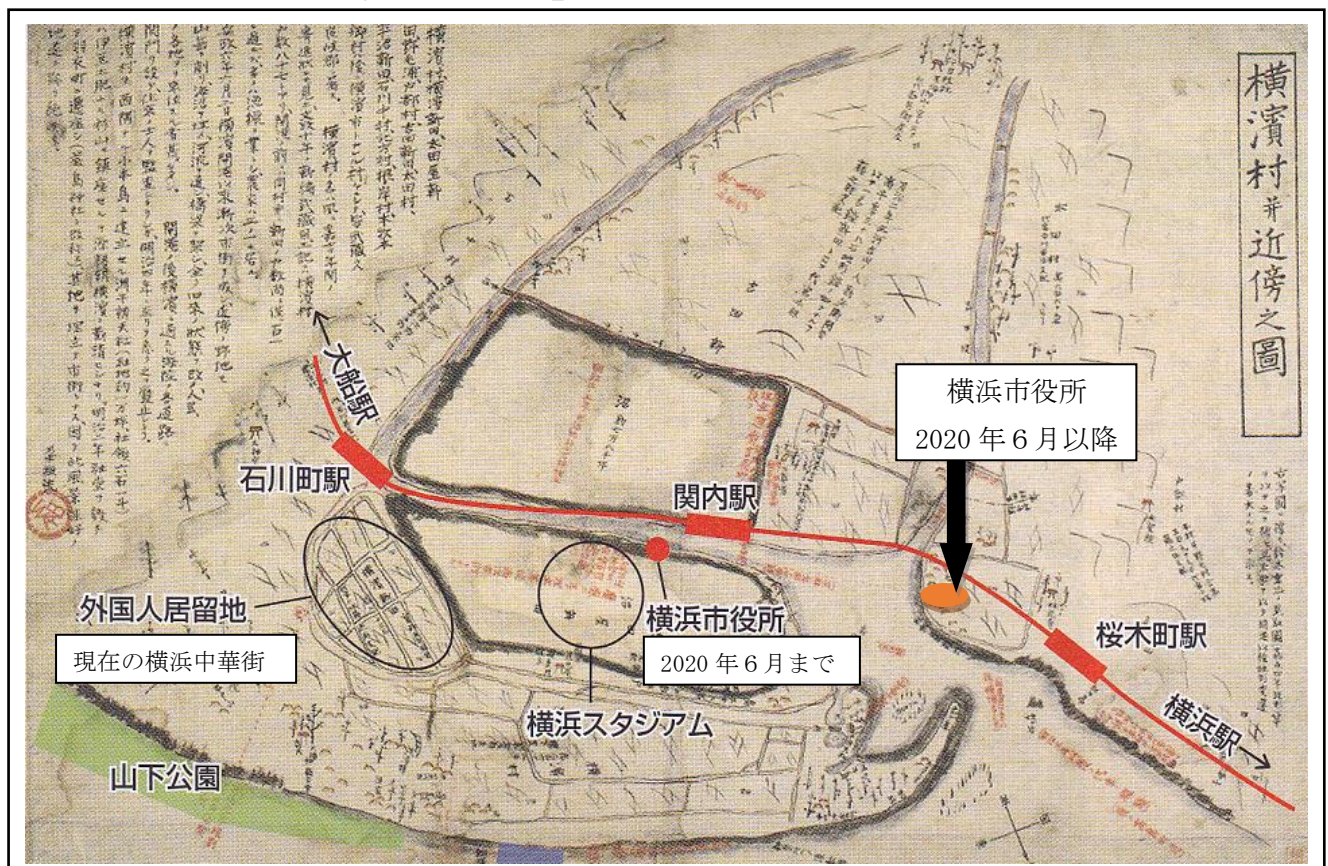
多摩川

外国人居留地

酒匂川

④ 「横浜周辺外国人遊歩区域図関連図」

開港当時の横浜（正進社版『歴史の資料』より）



⑤ 図録P. 43 「83. 前田砲台を占領したイギリス軍」 (ベアト撮影)



以上の資料は横浜市歴史博物館の企画展「生麦事件と横浜の村々」の図録を活用したが、博物館の常設展示資料のデジタル写真や企画・特別展の図録などは、最も容易に手にすることができ、効果的な授業活用ができる。また、横浜開港資料館には、幕末から明治時代の様々な実物の資料が保存されており、手続きを踏むことで閲覧やデジタル画像を利用することができる。